

埋文ふじのみや

MAIBUN

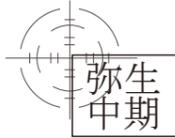
Vol.8



壺形土器（月の輪上遺跡／2C 前半）

上品にすぼまった頸、その下に続くなめらかな曲線、華美ではないのに視線を捉えて離さない装飾性…弥生土器の魅力が詰まったこの壺形土器は、富士宮市内の『月の輪上遺跡』から出土したものです。

今&次号では、満を持して弥生時代の遺跡をご紹介します。紀元前500年頃～3世紀の人間の営みに、しばし思いを馳せてみませんか!? 埋文センターでは、本物の弥生土器が“首をなが〜くして”皆様をお待ちしています。



渋沢遺跡

しぶさわいせき

富士宮市淀師

調査年 /
1982年・1983年



弥生中期の代表遺跡

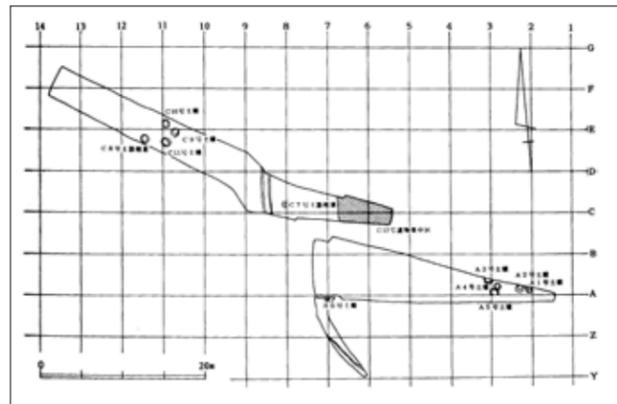
渋沢遺跡は、富丘小学校の南側台地の先端に位置する遺跡で、眼下には渋沢湧水地と湿地帯が広がります。道路の拡幅工事で実施された幅0.5m×長さ60mの範囲の中に土壇跡^{どこう}11基と遺物の集中区1箇所が見つかりました。土壇は径50cm～1mのほぼ円形で、大半が袋状で、うち2基は土器を納めた土器棺墓^{かんぼ}でした。かつて近くの畑で石囲いの炉が見つかったと言い伝えもあり、居住地と区別された集団墓地であっ

たと考えられます。出土土器は東海地方の丸子式土器を主体にして、西からの文化の波及が感じられ、また、採集資料を含めた多量の土器は県内でも他に類例を見ません。石器には、稲穂を摘むための石包丁や横刃形石器などの弥生農耕的な石器も見ますが、石鏃や石斧など縄文石器も普遍的に存在し、狩猟・採集に併存していた生活が垣間見られます。なお、磨製石包丁^{ませい いしぼうちよう}が採集されていますが、欠損後にペンダントとして再利用していたようです。



丸子式土器/壺（前）、甕（後）

報告書『渋沢遺跡』1989年



発掘調査全体図



発掘調査区全景



C7号土器棺墓跡



C7号土器棺墓（底の石器片）

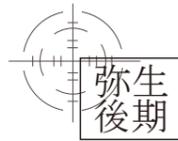


C8号土器棺墓跡



磨製石包丁（ペンダント使用）

※本遺跡は石包丁出土の東限



Tsukinowaue 月の輪上遺跡

つきのわうえいせき

富士宮市黒田

調査年 /
1976年・1980年
1988年・1997年



弥生後期の環濠集落

月の輪上遺跡は、黒田小学校の南側の小高い小丘の西裾に広がる弥生後期の集落跡です。小丘の南から西裾さらに黒田小体育館の西側にかけて、巾が1.5mほどで断面がV字状の溝状遺構1条が200mほどの長さで見つかっています。南側で狐状になることから集落を取り巻く環濠が予想されます。壕内には集落の廃絶時に捨てたと思われる多数の土器が重なりあって出土しています。環濠の南外側には竪穴住居跡^{ほったてばしらたものあと}27棟、掘立柱建物跡（高床倉庫など）7棟が見つかりました。竪穴住居跡は6×5m程の隅丸方形が一般的で、掘立柱建物跡は2間×1間（1.8mほど）が5棟、1間

×1間が2棟で、掘立柱建物を中心に住居がグループ化されていました。環濠集落の外側に営まれた集落の一面を垣間見ることができます。

報告書 / 『月の輪遺跡群Ⅱ』1981年
『月の輪遺跡群Ⅲ』1982年
『月の輪遺跡群Ⅳ』1994年



発掘調査全体図



竪穴住居跡の遺物出土状況



台付甕（後）と鉢形土器



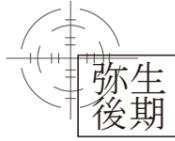
壺形土器



溝状遺構



竪穴住居跡と掘立柱建物跡群



Izumi 泉遺跡

いずみいせき

富士宮市泉町

調査年 /
1984年・1988年



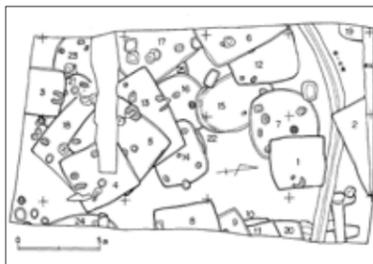
湿地の中の環濠集落

泉遺跡では、弥生時代後期から古墳時代前期のムラの跡が見つかっています。弥生時代後期中頃には、弥生時代後期中頃の竪穴住居とそれを取り囲む環濠からなるムラが形成されていました。泉遺跡は、川沿いの低地にあり、弥生時代からも、再

三、洪水に見舞われていましたが、洪水の影響を受けながらも、地域の中心となるムラが営まれました。

2世紀には、多くの遺跡が海岸部の平野から山間地へ移動します。泉遺跡は、富士山麓における本格的な弥生時代のムラの登場を表すものとなっています。

報告書『富士宮市の遺跡』1993年



発掘調査全体図



発掘調査風景



発掘調査区全景



(左から) 壺、甕と台付甕2点

遺跡から富士宮の原始・古代を考える 邪馬台国時代の富士宮

VI. 邪馬台国前夜⑥

富士宮市周辺が邪馬台国のような小国が連合するような時代を迎えるのは、3世紀の初め頃からだと考えられます。それを遺跡から明らかにしているのが、大岩の丸ヶ谷戸遺跡で発見された古墳だと言えます。丸ヶ谷戸遺跡の登場が邪馬台国登場の時代に関わることになり、このコラムの本筋となります。

ただし、ここでは、その時代に至る前夜

埋文センター所長によるコラム 考古学への招待 Vol.7



の様子を改めて確認しておこうと思いません。歴史的な出来事を表の通りまとめてみました。

私は、この3月で埋蔵文化財センター所長の職を解かれます。これからが面白くなるのですが、本題の邪馬台国時代については、また何かの機会に報告できればと考えています。いままでお付き合いいただきありがとうございました。

西暦	中国のできごと	日本のできごと	富士宮のできごと
100		107 倭国王 帥升らが後漢に使いを送る	太平洋沿岸大洪水
150	146-189 恒霊の間 184 黄巾の乱 190 遼東太守 公孫度が自立を強める	倭国大乱 卑弥呼が共立される	泉遺跡 環濠集落 (ムラ) 月の輪上遺跡 環濠集落 (ムラ) 滝戸遺跡 登場
200	204 公孫康が帯方郡を設置する 208 曹操と劉備・孫権との赤壁の戦い		滝戸遺跡 方形周溝墓が造られる 月の輪上遺跡が終焉を迎える 丸ヶ谷戸古墳 登場 市内の遺跡数が増える
250	220 曹丕が皇帝となり、魏を興す 221 劉備が皇帝となり、蜀を興す 222 孫権が自立して、呉を興す 234 魏と蜀の五丈原の戦い 236 遼東の公孫淵が燕を興す 238 魏が公孫氏を滅ぼす	239 卑弥呼が難升米らを魏に派遣する 240 帯方郡からの使者が倭国に派遣される 243 卑弥呼、魏に使いを送る 邪馬台国と狗奴国との戦い 247 卑弥呼、魏に使いを送る 248 卑弥呼が亡くなる 再び戦乱が起こる 香与が女王となる 箸墓古墳が築かれる	このころ富士山が噴火する 丸ヶ谷戸遺跡 方形周溝墓が造られる 高尾山古墳で支配者を埋葬 向山 16号墳 (三島) 神明塚古墳 (沼津) 神祖遺跡 登場 子ノ神古墳 (沼津)
	263 蜀が滅びる 265 司馬炎が西晋を興す	266 香与が西晋に使いを送る	滝戸遺跡で再び方形周溝墓が造られる

※大阪府立弥生文化博物館 2015を参考に作成

次号の案内

富士宮市内で見つかった

弥生時代の遺跡特集 2

富士宮市の見どころ案内 '20年3月の予定

「狩宿の下馬ザクラと井出家」展 12月10日（火）～3月29日（日）

「富士の巻狩」の舞台となったされる狩宿の井出家の歴史と、ゆかりの「狩宿の下馬ザクラ」について紹介します。

場所：富士宮市立郷土資料館（富士宮市民文化会館内）

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週月曜日（第3月曜は除く）、年末年始

問い合わせ先：富士宮市教育部文化課 埋蔵文化財センター 0544-65-5151

埋蔵文化財シンポジウム

「大鹿窪遺跡の歴史と環境」 3月7日（土）

静岡県考古学会シンポジウム

「縄文時代草創期の初期定住とその環境」 3月8日（日）

縄文草創期を主体とした「大鹿窪遺跡」は、2008年に国の史跡に指定されました。シンポジウムに参加して、本遺跡について専門的な視点から学びを深めてみませんか。

場所：富士宮市民文化会館 小ホール 時間：10:00～16:30（両日とも）

参加費：無料（予約不要） ※8日のみ別途資料代

問い合わせ先：富士宮市教育委員会事務局教育部文化課 埋蔵文化財センター 0544-65-5151

富士宮市埋蔵文化財センター

ご利用案内

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室

開館日 平日

* 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

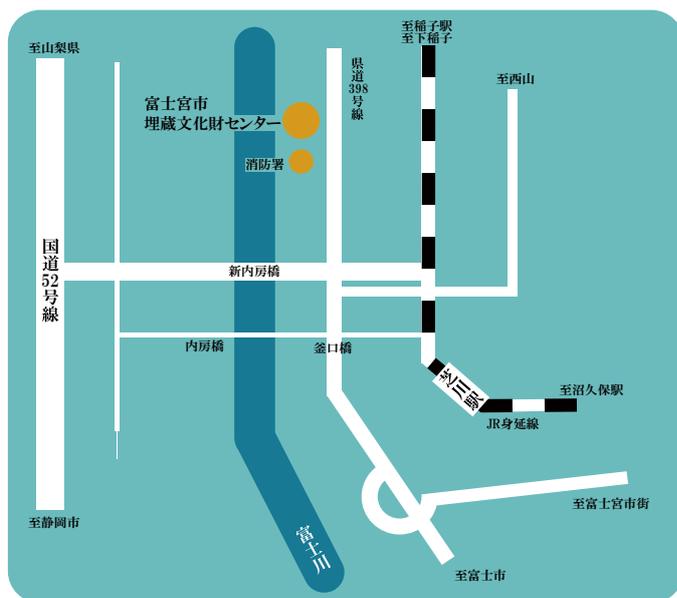
* 埋蔵文化財センターの業務時間は
8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）



交通案内



富士宮市埋蔵文化財センターだより

埋文ふじのみや Vol.8

令和2年3月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター

※『埋文ふじのみや』はバックナンバーを含め、富士宮市のホームページでご覧になれます